

図書だより

第10号

2021. 2. 16
福島県立只見高等学校
図書部



青春 ～特集 俺の本～

3年生もうすぐ卒業を迎えます。今号は、只見高校の図書館を3年間見つめてきた方の想いを
ご紹介します。お相手は、先輩講話でもお話ししてくれた長谷川晃裕さん（3年1組）です。

Q1 図書委員長になったきっかけは何ですか？

ただ楽しそうでした。平和だな、と。憧れもありました。

Q2 そこから3年間、委員を務めることになるのですね。

只見高校の図書館の良いところは何だと思いますか？

配置ですね。本がすぐ目につくようになっているので、

「気になるな。」という本を見つけやすいです。

Q3 「おすすめの本」はありますか？

『君たちはどう生きるか。』ですね。高校入学時に親からプレゼントされました。

他には、司馬遼太郎の『峠』や、百田尚樹の『永遠の0』を挙げたいです。

『峠』は、只見町で生活している皆さんにぜひ、と思います。

Q4 後輩へメッセージをお願いします。

(質問の後、間髪入れずに) 学級文庫を大切にしてください！

Q5 卒業後の読書活動について、意気込みを教えてください。



森先生のような社会科教員になりたいので、

色々な知識や考えを吸収したいと思っています。

できる限り、大学の図書館の本を読んでいきます！

今号は裏面もあります。ご覧ください！

★図書委員のおすすめ本コーナー設置

今月図書館を利用してくれた皆さん、お気づきでしょうか。

図書館入口から最も近い場所に、「図書委員のおすすめ本」コーナーが出来ました。どなたのおすすめなのかは、本を手にとってカウンターの委員に声をかけてください。

委員の皆さん、3年生の想いを引き継いで「みんながつくる図書館」を実現させていきましょう。

1・2年生の皆さん、来館お待ちしております！



★図書室からのお知らせ

冬休み期間中に借りていた本は早めに返却をお願いします。

延長したい場合も速やかに手続きをしてください。



★新着図書情報

始まりの木 (夏川草介)

「これからの世界」を生きる君に伝えたいこと

(ウスビ・サコ)

きちんと生きてる人がやっぱり強い (内海実)

お経の意味がやさしくわかる本 (鈴木永城)

社会を知るためには (筒井淳也)

温暖化で日本の海に何が起こるのか (山本智之)

知っておきたい感染症【新版】 (岡田晴恵)

感染症は世界をどう変えてきたか (内藤博文)

★1月の図書館事情

開館日 14日

入館者数 426人

貸出冊数計 26冊

1年生 2冊

2年生 12冊

3年生 5冊

教職員 7冊

1年生への貸出がありました！！

★卒業を控えた3年生の皆さんへ

かけたかつじは

てにひろわれて

あらたなかみに

わがみをゆだね

ことばのはかげに

ひとをいこわせ

あしたをうたう

ほんをゆめみる

新たな環境でも
ご縁を大切に

谷川俊太郎「たりる」